

一 次の(1)・(2)の文の―部の漢字をひらがなに直して書きましょう。

(1) 話し合いを重ねる。

(2) 屋外に出る。

(1)

ねる

(2)

二 次の(1)・(2)の文の―部のひらがなを漢字に直して書きましょう。

(1) 荷物をはこぶ。

(2) 山里のりよかんにとまる。

(1)

ぶ

(2)

三 次の(1)・(2)の言葉を漢字を使って書くとき、正しく送りなががつけられているものを、それぞれあとの1から3までのの中から一つえらび、その番号に○をつけましょう。

(1) こまかい
 1 細まかい
 2 細かい
 3 細い

(2) うつくしい
 1 美しくい
 2 美しい
 3 美い

四 次の四つの言葉を国語辞典で調べます。国語辞典でさいしよに出てくる言葉はどの言葉でしょう。あとの1から4までの中から一つえらんで、その番号に○をつけましょう。

1 きつつき
 2 キック
 3 きっかけ
 4 気づく

五 国語辞典では、形が変わる言葉は、次の【れい】のように言い切りの形で出ています。

【れい】まよってしまう ↓ (国語辞典で調べるとき)

まよう

「花たばをかかえたピアニスト」の中の―部の言葉について調べるとき、どのような形にして調べるとよいですか。ひらがな四字で書きましょう。

六 次の文の主語を、アからオまでの中から一つえらんで、その記号に○をつけましょう。

ア わたしの
 イ 家に
 ウ 友だちが
 エ あそびに
 オ きました。